

第2学年 年間指導計画(国語科 全280時間)

学習の目標

- 事柄の順序を考えながら話すことや、大事なことを落とさないように聞くことを学ぶ。また、話し合おうとする態度を育てる。
- 事柄の順序を考えながら、文や文章を書くことを学ぶ。また、楽しんで表現しようとする態度を育てる。
- 事柄の順序を考え、場面の様子などについて想像を広げながら読むことを学ぶ。また、楽しんで読書しようとする態度を育てる。

学習の方法

- 自分が体験したことなどについて話すことや、友達など、人の話を利くことの活動を取り入れる。
- 絵に言葉を入れたり、伝えたいことを簡単な手紙や文に書いたりする活動を取り入れる。
- 絵や写真などを見て、想像を膨らませながら読む活動を取り入れる。
- 昔話や童話などの読み聞かせを聞く活動や、自分の読みたい本を探して読む活動を取り入れる。
- 図書室も利用する。

学習の評価

次の5つの観点にそって、どれだけ達成できたかによって評価する。

1. 国語への関心・意欲・態度
2. 話す・聞く能力
3. 書く能力
4. 読む能力
5. 言語に関する知識・理解・技能

「よいこのあゆみ」では、それぞれについての総合的な結果を知らせる。評価の方法は、ペーパーテストのほか、プリント、ノート、発表などである。

単元名	主な学習内容
1 はっきりとした声で読もう	はっきりとした声で、すらすらと声に出して読む。
・かくれんぼ	
・としょかんへいこう	図書館の利用の仕方を知り、本を読む。
・「お話カード」を書こう	読んだ本について、簡単な感想を書く。
・かたかなで書くことば	片仮名で書く言葉についてまとめ、正しく使う。
2 書いてあることを正しく読もう	順序に気をつけて読み取る。
・たんぼぼ	
・ことばで絵をつたえよう	大事なことを落とさずに順序よく説明する。
・よく見て書こう	観察して、気づいたことをくわしく書く。
・かん字の書き方に気をつけよう	漢字の筆順と画数について理解する。
3 ばめんに気をつけて読もう	場面ごとに人物のしたことや気持ちに気をつけて、お話を読む。
・お手紙	学習のねらいを確かめ、物語を読んで、初発の感想を発表する。
・まよい犬をさがせ	必要なことを落とさないように聞いて、メモを取る。
・組みあわせたことばをつかおう	複合動詞の構成や意味を理解し、言葉への関心を深める。
4 せつめいの文をくらべて読もう	二つの説明の文を比べて、違いを考える。
・ふろしきは、どんなぬの	学習のねらいを確かめ、教材全体を通読する。
・できるようになったよ	順序に気をつけて文章を書く。
・なかまになることばをあつめよう	仲間になる言葉に関心を持ち、言葉を集めたり分類したりする。
・本は友だち	読書の楽しさを理解し、自分の興味に合わせて本を選んで読む。
5 しを読もう	詩を声に出して読み、言葉の響きを楽しむ。
・いろいろなおとのあめ	いろいろなものに降る雨の音の違いに気をつけながら、「いろいろなおとのあめ」を声に出して読み、言葉のひびきを楽しむ。

・空にぐうんと手をのばせ	感じたことが表れるように、動作をしながら気持ちをこめて「空にぐうんと手をのばせ」を読む。
・かんじたことを	感じたことや思ったことを詩に書く。
・話したいな、とくいなこと	聞く人に伝わるように順序よく話す。友達の話に興味をもって聞く。
・「ありがとう」をつたえよう	伝えたいことを簡単な手紙に書く。
・言いつたえられているお話をしよう	神話や伝承を聞いたり、自分で読んだりし、おもしろかったところを友達に発表し合う。
6 人物のようすや気持ちに気をつけて読もう	場面に気をつけて、人物の様子や気持ちを読み取る。
・名前を見てちょうだい	学習のねらいを確かめ、物語を読んで感想を発表する。
・絵を見てお話を作ろう	絵から想像を広げて、お話を書く。
・声に出してみよう	音節と文字との関係や、アクセントによる言葉の違いについて理解する。
・かん字のれんしゅう	アクセントによる言葉の違いについて理解し、身の回りからアクセントによって意味が異なる語を探す。
7 どうぶつのひみつをみんなでさがろう	だいたいな言葉を探しながら、順序に気をつけて読み取る。
・ビーバーの大工事	教科書P30冒頭を読んで学習のねらいと流れを確かめ、説明文を通読して初発の感想を発表する。
・聞き合おう、みんなのたからもの	一つの話題について、知りたいことを尋ねて話し合う。
・かん字のれんしゅう	教科書P44-45の話し合い例から、グループで話し合うときの留意点を確かめる。
8 じゅんじょをかんがえてせつ明しよう	書くことを整理し、順序を考えて書く。
・二年一組、はつ明むしょ	教科書P49-56を読んで、発明品を考え紹介することを知り、学習のねらいと流れを確かめる。
・主語とじゅつ語に気をつけよう	主語と述語の働きを理解し、主述のそろった正しい文を書けるようにする。
9 むかし話を楽しんで読もう	おもしろさを見つけながら、いろいろな昔話を読む。
・かさこじぞう	学習のねらいと流れを確かめ、物語を読んで感想を発表する。
・おばあちゃんに聞いたよ	昔から伝わるいろいろな言い方について知り、声に出して読む。
・考えたわけを書こう	考えたこととその理由を文章に書く。
10 分かりやすくせつ明しよう	聞く人によく分かるように、順序よく説明する。
・「おもちゃまつり」へようこそ	教科書P89-97を読んで、学習のねらいや活動の流れを確かめる。手作りおもちゃに関する経験を出し合う。
・おくりがなに気をつけよう	送り仮名について理解し、送り仮名に注意しながら正しく漢字の読み書きをする。
11 虫について知ったことをもとに考えよう	似ているところと違うところに気をつけて読む。
・虫は道具をもっている	
・「思い出ブック」を作ろう	これまでに書いた文章や詩を読み返し、1年間の思い出を文章や詩に書く。
・はんたいのいみのことば	反対の意味を表す言葉に関心を持ち、言葉を集めたり分類したりする。
12 お話を紙しばいにしよう	場面に気をつけて、読み取った人物の様子や気持ちが伝わるように紙芝居をする。
・ニャーゴ	